

参考資料

平成24年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
県 民 生 活 部

新規事業及び重要事業総括表

I 総 額

【一般会計】

区 分	平成24年度	平成23年度	伸び率
予 算 総 額	7,001,850千円	9,818,023千円	△28.7%
一般会計構成比	0.4%	0.6%	—

II 主な新規事業および重要施策

(単位 千円)

1 時代に応え未来を拓く人材育成

P 1	一部新規	グローバル人材の育成・活用【国際課・青少年課】	102,329
P 3		夢や目標の実現に向けてチャレンジする青少年の育成【青少年課】	11,516
P 4		国際ジュニアサッカー大会の開催【青少年課】	17,525
P 5		文化で創る元気な埼玉の推進【文化振興課】	13,654

2 世界水準の中小企業育成

P 6	新規	埼玉・アジアプロジェクトの推進【国際課】	17,153
-----	----	----------------------	--------

3 女性がいいきと輝く社会の構築

P 7		女性のチャレンジ総合支援事業【男女共同参画課】	17,950
-----	--	-------------------------	--------

4 日本一の共助県づくり

P 8	一部新規	共助社会づくりのモデル事業への支援【NPO活動推進課】	73,927
P 9		埼玉県NPO基金を活用したNPO活動に対する支援【NPO活動推進課】	136,146
P 10	一部新規	日本一の防犯共助県づくり【防犯・交通安全課】	72,031
P 11	一部新規	自転車安全利用の促進【防犯・交通安全課】	30,039

5 その他の主要な事業

P 12		県主要事業の一元的広報【広聴広報課】	29,300
P 13		芸術劇場からの新たな埼玉文化の発信【文化振興課】	1,304,977
P 14	一部新規	未利用施設を活用した文化芸術拠点の整備【文化振興課】	26,655
P 15		消費者の安心・安全サポート事業【消費生活課】	103,170
P 16	一部新規	消費者行政活性化事業【消費生活課】	187,724

グローバル人材の育成・活用

担当 国際課	グローバル人材育成担当	内線	2712
青少年課	育成事業推進・県民運動担当	内線	2912

1 目的

人口減少社会を迎え国内市場が収縮する中で、日本が国際競争力を高め、持続的に発展していくためには、国際的視野を持って海外で活躍できる人材の育成が重要であるが、海外への留学者数の減少など、若者の「内向き化」が顕著となっている。

若者の意識啓発や海外留学奨学金の支給などにより、グローバル人材の育成を進めるとともに、帰国奨学生に対し必要な実践力養成研修などを行い、グローバル人材の活用を促進する。

2 事業内容

(1) 若者を世界で鍛える 若者のチャレンジ支援

「埼玉発世界行き」奨学金支給事業費

89,690千円

- 埼玉から世界に羽ばたくグローバル人材を育成するため、海外に留学する高い志を持った若者に対し奨学金を支給し、経済的側面から支援

① 海外大学、大学院へ学位取得を目的とする留学

給付額 100万円/年(上限)※ 給付人数 20人(うち継続10人)

② 海外大学、大学院、短期大学との協定等に基づいた6か月以上で単位取得を目的とする留学

給付額 20万円(上限) 給付人数 200人

③ 高校在学中に行う3か月以上の海外高校への留学

給付額 60万円(上限)※ 給付人数 50人

※ 世帯所得による調整あり。

予算事業以外の取組

- 埼玉りそな銀行・武蔵野銀行との提携による留学ローンの継続
全国最低水準の金利で留学生を支援、金利年2.3%(変動)
※ 国の教育ローン(2.55%・H24.1.20現在)より低利

(2) グローバル人材の能力を活かす

「埼玉発世界行き」奨学生フォローアップ事業費(新規)

8,686千円

- グローバル・キャリアアップ・プログラムの開講

グローバル活動に必要な知識・ノウハウの修得、企業や関係機関でのインターンシップや交流などによる実践力養成研修の実施

- 帰国奨学生と県内企業との交流会

帰国奨学生とグローバル人材の活用に関心の高い県内企業との交流

グローバル人材埼玉ネットワーク事業費 **2,050千円**

- 埼玉県と海外との橋渡しとなる「グローバル人材埼玉ネットワーク」の運営
県内外国人留学生、日本人海外留学経験者等、県ゆかりのグローバル人材をネットワーク化
- 外国人留学生の就職支援
セミナーの開催など

(3) 若者が世界へ目を向ける（動機づけ・啓発）

高校生世界へはばたけ！育成塾事業費 **1,903千円**

- 高校生等が世界に目を向けるきっかけづくりとなる講演会を実施
 - ・ 講師
 - ① 海外で活躍する企業や公的機関、NPO等
 - ② 大学及び留学経験者
 - ③ 日本語が堪能な外交官
 - ・ テーマ 海外の事業や活動の話、楽しさや厳しさ、国際人として必要な能力など

3 予算額 **102,329千円**

夢や目標の実現に向けてチャレンジする青少年の育成

担当 青少年課 国際ジュニアサッカー大会担当
内線 2357

1 目的

各分野で活躍中の埼玉ゆかりのプロフェッショナルと連携して、青少年が学び、体験する機会を提供することにより、青少年の夢の発見とその実現を支援する。

2 事業内容

○ 青少年夢のかけはし事業

(対象) 小学生 (約 2,000 人)

(内容) 一流のプロフェッショナルが講師

- ・スポーツ、文化・芸能、サイエンス、
憧れの職業の4分野・25講座

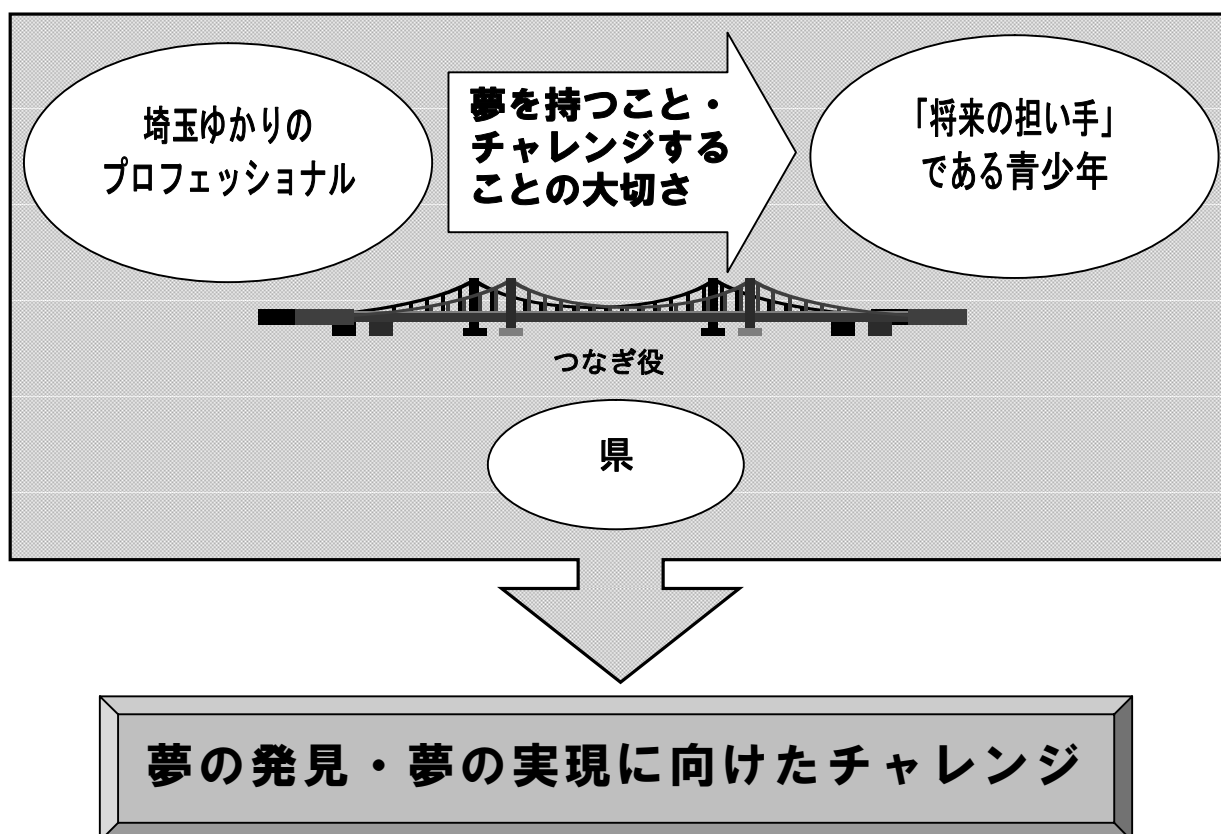
○ 青少年夢の配達便事業

(対象) 20人以上の団体 (約 100 団体)

(例、小学校、子ども会等)

(内容) 地域のプロフェッショナルを
講師として派遣

- ・スポーツ、文化・芸能、サイエンス、
ものづくりの4分野・48メニュー



3 予算額 11,516千円

国際ジュニアサッカー大会の開催

担当 青少年課 国際ジュニアサッカー大会担当
内線 5858

1 目的

2002 FIFAワールドカップ埼玉開催の感動を引き継ぎ、次代を担う子供たちのサッカーを通じた交流により、青少年の健全育成と国際交流を推進し、あわせて埼玉のイメージアップを図る。

2 事業内容

埼玉国際ジュニアサッカー大会2012

- 1 主催 埼玉国際ジュニアサッカー大会実行委員会
(構成：県、県サッカー協会、開催市、県公園緑地協会)
- 2 期間 平成24年7月24日(火)～30日(月)
- 3 会場 埼玉スタジアム2002ほか
- 4 参加 24チーム
(海外チーム、県外選抜チームを含む)
- 5 主な内容
(1) 国際ジュニアサッカー大会(12歳以下)
(2) 海外チームと県民との交流事業



【2011大会結果】

優勝：タイ王国選抜

参加海外チーム

準優勝：佐賀県選抜

〔タイ、マレーシア〕

第3位：埼玉県西部選抜

〔韓国、中国、豪州〕

3 予算額 17,525千円

文化で創る元気な埼玉の推進

担当 文化振興課 文化事業・ユニバーサルデザイン担当
内線 2882

1 目的

近年盛んに行われている新しい文化であるよさこいと、県内に受け継がれている伝統芸能の新旧の文化資源を活かしたイベントを開催することにより、元気な人、元気な埼玉づくりを目指す。

2 事業内容

埼玉YOSAKOIフェスティバル

- 開催内容
県内のよさこい踊りのチームを一堂に会し、コンテストを中心としたフェスティバルを開催する。
- 開催時期 平成24年9月
- 場所 さいたまスーパーアリーナ
(コミュニティアリーナ)



埼玉伝統芸能フェスティバル

- 開催内容
古くから地域に根ざした伝統芸能を広く県民に紹介する。
平成24年度は県内各地の人形芝居等を上演予定。
- 開催時期 平成25年1月
- 場所 彩の国さいたま芸術劇場



世代間交流・
地域間交流

地域コミュニティ
の再生

地域経済の
活性化

元気な人・元気な埼玉づくり

3 予算額 13,654千円

埼玉・アジアプロジェクトの推進

担当 国際課 国際交流・協力担当
内線 2713

1 目的

アジア諸国との相互交流をあらゆる分野で進めながら、アジアが抱える諸問題の解決に官民が連携しビジネスも含めて貢献していく。

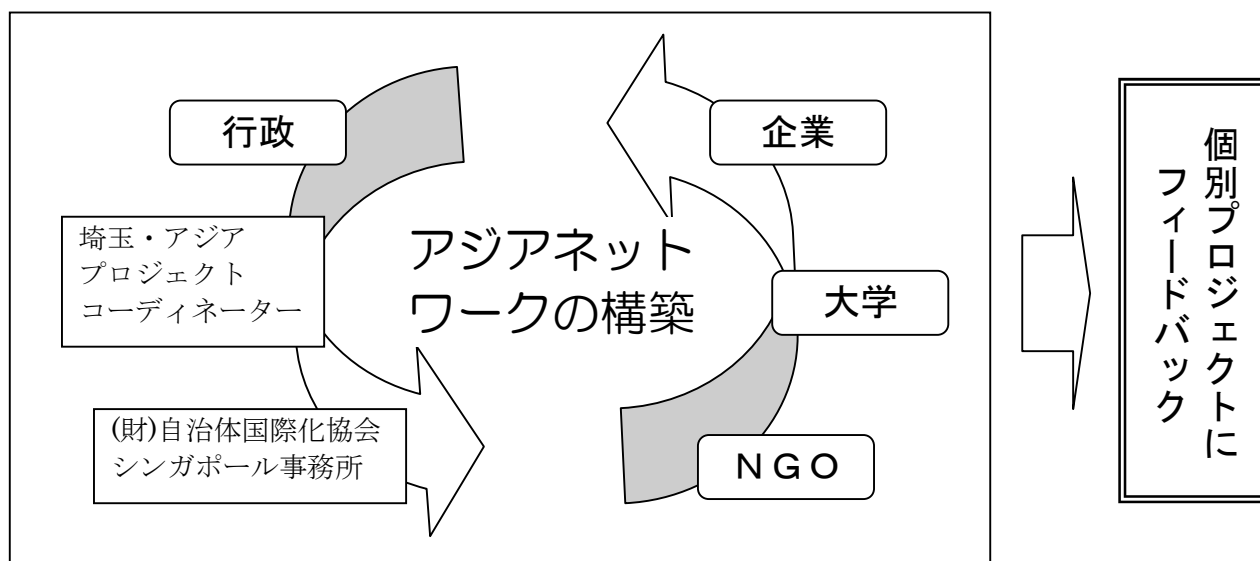
2 事業内容

(1) 埼玉・アジアプロジェクトチームの運営 10,904千円

- ・ 企業、大学、行政、NGOが相互に連携し合うネットワークを構築
- ・ アジアに精通したプロジェクトコーディネーターを配置
- ・ アジアプロジェクト会議の開催、ネットワークの活用による相互の情報発信、アジアセミナーの開催
- ・ 企業、大学などの個別プロジェクトにフィードバック

(2) (財)自治体国際化協会シンガポール事務所に県職員を派遣 6,249千円

- ・ 海外からの情報収集と人的ネットワークを構築し、プロジェクトチームに提供



3 予算額 17,153千円

女性のチャレンジ総合支援事業

担当 男女共同参画課 総務・推進担当
内線 2927

1 目的

「働きたい」「社会貢献したい」など様々なチャレンジをしたい女性を支援し、女性の能力が十分発揮され活力ある男女共同参画社会を実現する。

2 事業内容

(1) 女性のチャレンジ支援

女性が「いつでも、どこでも、何度でも」チャレンジできるよう、ライフステージに応じた様々なチャレンジを総合的に支援する。

- ア チャレンジ&お仕事相談
- イ 市町村の取組支援
- ウ 経済的に困難な女性のチャレンジ支援
- エ 若年女性無業者のチャレンジ支援

(2) さらなるステップアップ支援

働く女性の就業継続を支援するとともに、職場の方針決定への女性の参画を進めるため管理職へのステップアップを支援する。

また、市町村の審議会等における女性の活躍に資するため、女性からの政策提言講座を実施する。

- ア 働く女性のステップアップ相談
- イ ステップアップ講座の開催
- ウ 女性からの政策提言講座の開催

3 予算額 17,950千円

共助社会づくりのモデル事業への支援

担当 NPO活動推進課 NPO活動担当
内線 2828

1 目的

「日本一の共助県づくり」の取組の一環として、NPOが「つなぎ役」となり、地域の安全・安心向上、子育ての支援、高齢者支援などの地域における共助の仕組みを構築する事業に対して助成する。

また、国の交付金を活用し、市町村における共助社会づくりを促進するため、市町村とNPO、地域団体など多様な主体が協働する取組に対して助成する。



(震災復旧支援活動)



(子育て支援活動)

2 事業内容

NPOによる共助の仕組みづくりの支援

共助モデル推進事業（新規）

- ・NPOがつなぎ役として地域の団体と連携し、共助の仕組みづくりを支援

$$1,000 \text{ 千円} \times 4 \text{ 事業} = 4,000 \text{ 千円}$$

多様な主体による共助社会づくりへの支援

新しい公共支援事業市町村交付金

- ・市町村とNPO、大学、企業、地域団体などの多様な主体の協働による、共助社会づくり等に向けたモデル事業への支援

$$\text{新規分} \quad 6,000 \text{ 千円} \times 9 \text{ 事業} = 54,000 \text{ 千円}$$

$$\text{継続分} \quad 2,000 \text{ 千円} \times 5 \text{ 事業} = 10,000 \text{ 千円}$$

3 予算額 73,927千円

埼玉県NPO基金を活用したNPO活動に対する支援

担当 NPO活動推進課 NPO活動担当
内線 2838

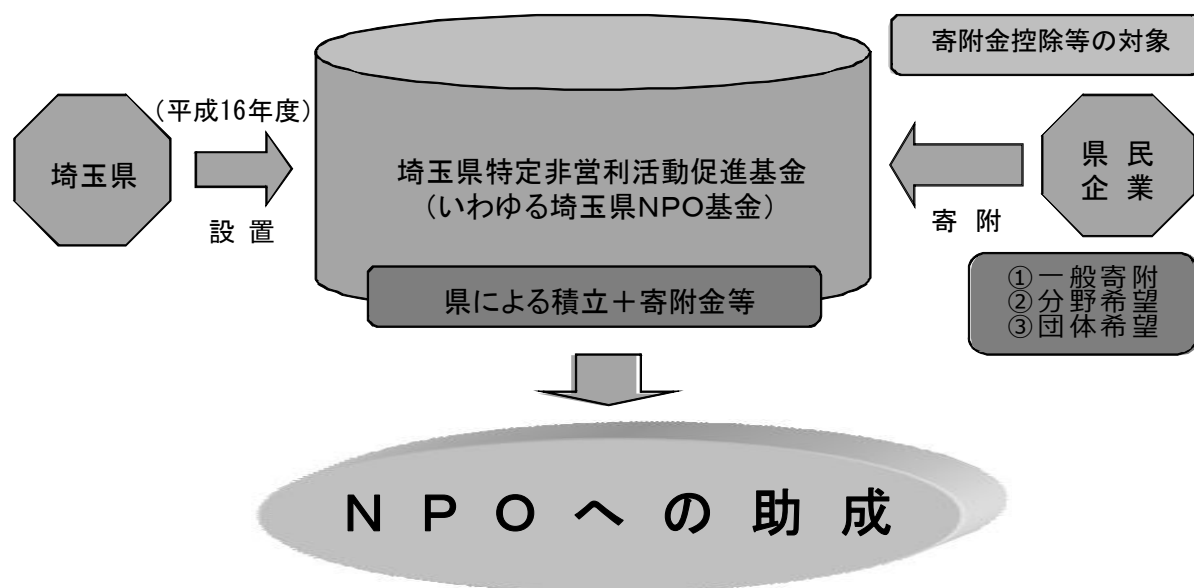
1 目的

県民や企業の皆様からの寄附金や、国の「新しい公共」支援事業交付金等を積み立てた埼玉県NPO基金を活用して、県内のNPO活動を支援する。

2 事業内容

(1) NPOへの助成

寄附金を原資にした基金による助成という「民が民を支えるシステム」としての特性を活かし、NPOが行う先進的・独創的な取組等を支援するほか、寄附者が支援したい団体を希望して寄附した団体希望寄附金を活用して当該団体に対する助成金を交付する。



(2) NPOの活動基盤の整備

内閣府から交付された「新しい公共」支援事業交付金をもとに、地域の中核となるNPO法人の育成、寄附促進広報などの事業の実施により、NPO法人の活動基盤の整備を図る。

3 予算額 136,146千円

日本一の防犯共助県づくり

担当 防犯・交通安全課 防犯事業担当
内線 2945

1 目的

防犯意識の高揚を図るための普及啓発や日本一の数を誇る自主防犯組織（愛称：わがまち防犯隊）の活動の充実を図り、市町村、県民、事業者との連携等により、犯罪を起こさせにくいまちづくりを進め、日本一の防犯共助県づくりを推進する。

2 事業内容

(1) 防犯のまちづくり推進事業費 10,292千円

① 防犯のまちづくり普及啓発

議員連盟との共催による街頭キャンペーンの実施や、広報用チラシ等を用いた啓発活動の実施。

② わがまち防犯隊レベルアップセミナー

活動内容においても日本一のわがまち防犯隊を目指すため、平成22年度から平成26年度の5年間で、すべての自主防犯組織を対象に開催。

③ 防犯のまちづくり推進会議の開催

防犯のまちづくりを県民総ぐるみで推進するため、埼玉県防犯のまちづくり推進条例に基づき県、市町村、県民及び事業者団体等により構成された推進会議を開催。

④ 犯罪被害者等基本法の普及啓発

犯罪被害者相談窓口の運営及び犯罪被害者対策に関する研修会の開催。

(2) 「減らそう犯罪の日」一斉パトロール実施事業費 1,739千円

① 自主防犯組織の指導

出前講座による自主防犯活動の普及、現地指導。

② 重点抑止犯罪対策の実施

重点的に抑止すべき犯罪に関する地域安全情報の提供、街頭キャンペーン活動、自主防犯組織との連携強化。

(3) 日本一の防犯共助県づくり推進事業費（新規） 60,000千円

市町村が自ら目指す防犯のまちづくりを推進するため実施する事業にその経費の一部を補助する。【防犯共助県づくり推進事業補助金】

補助率 1/2 限度額 300万円

3 予算額 72,031千円



自転車安全利用の促進

担当 防犯・交通安全課 安全教育・指導担当

内線 2961

1 目的

自転車交通安全教育や自転車の安全な利用に関する啓発活動及び広報活動など、条例に基づく施策事業や九都県市の連携・協働による施策事業を強化推進する。

2 事業内容

(1) 共助による自転車安全利用の県づくり推進事業費（11,356千円）【新規】

自転車安全利用の県民運動を進める中核（リーダー）として「自転車安全利用指導員」を委嘱する。

自転車安全利用指導員の活動内容

- ・「自転車安全利用の日」（毎月10日）を中心とした街頭指導等。
- ・地域住民に対する会合等、自転車安全利用に関する理解を深める活動。
- ・学校での児童生徒を対象にした自転車交通安全教育。 など

(2) 県民総ぐるみ交通安全推進事業費（18,683千円）【一部新規】

① 九都県市共同キャンペーン等の実施

九都県市首脳会議での提案に基づき九都県市が連携・協力して、自転車安全利用を推進する施策事業を実施。

② 「自転車安全利用の日」の普及啓発

毎月10日の「自転車安全利用の日」を中心に、自転車利用者に対する街頭指導活動やキャンペーン等を実施。

③ 自転車安全利用重点市町村への支援

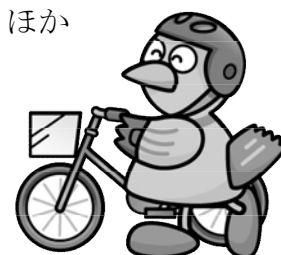
自転車事故が多発する市町村を自転車安全利用重点推進市町村に選定し、自転車安全利用により効果が見込める事業への取組について支援を行う。

また、その成果を広く県内市町村や九都県市にPRしていく。

自転車安全利用重点推進市町村が実施する事業

- ・中高生を対象としたスケアードストレイト技法を用いた交通安全教育
- ・交差点への注意看板又はペイントの設置 ほか

3 予算額 30,039千円



県主要事業の一元的広報

担当 広聴広報課 企画調整担当
内線 2865

1 目 的

県の重要テーマについて、複数部局にまたがる情報を集約して一元的に広報し、県内外に向け施策の全体像を分かりやすく効果的に発信する。

2 事業内容

決定したテーマに応じ、最も効果的と思われる手法を組み合わせる。

(平成23年度に実施したテーマ：「じてんしゃ王国埼玉」)

広報の展開例

- ◎テーマに応じた広報キャンペーンの仕掛けづくり
- ◎有名人をリーダーとするグループの結成
- ◎イベントの開催
- ◎鉄道会社と連携したPR
- ◎パートナー企業を募ってのタイアップ企画
- ◎FacebookなどSNSを活用したファンとの交流とクチコミによる情報拡散
- ◎雑誌とのタイアップ広報
- ◎Youtubeやサイタマどうがなどによる動画配信

3 予算額 29,300千円

芸術劇場からの新たな埼玉文化の発信

担当 文化振興課 財団指導・文化施設担当
内線 2877

1 目的

彩の国さいたま芸術劇場から、創造性あふれる舞台芸術作品を生みだし、全国や世界に発信する。また、埼玉会館や熊谷会館では、親しみやすい作品を提供し、誰もが身近に文化芸術に親しめる環境を整備する。

2 事業内容

- (1) 指定管理者である公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団による彩の国さいたま芸術劇場、埼玉会館及び熊谷会館の施設の管理運営
- (2) 蜷川幸雄芸術監督のもと、3館の施設機能を活かした舞台芸術作品の提供等

彩の国さいたま芸術劇場

芸術性の高い舞台芸術作品の創造・発信や参加・育成事業を展開

○彩の国シェイクスピア・シリーズ

蜷川幸雄芸術監督の演出・監修によりシェイクスピアの全37作品を上演する企画。

シリーズ第25弾「シンベリン」及び

同第26弾「トロイラスとクレシダ」を上演。

○さいたまネクスト・シアター

若手俳優の育成プロジェクト。第4回公演を実施。

○現代舞踊

世界的なダンス・カンパニーの招聘による公演。

○音楽、芸能等

ピアノリサイタル、室内楽などの音楽公演や落語など多彩な舞台芸術作品を上演。



(C) 清田征剛
「彩の国シェイクスピア・シリーズ」第24弾
「アントニーとクレオパトラ」より

埼玉会館

県南の文化拠点施設として会館の特性を活かしたオーケストラ公演を中心に展開



(C) 加藤英弘
NHK交響楽団

熊谷会館

県北の文化拠点施設として地域ニーズに応じた公演や参加・育成事業を展開



(C) Matron
熊谷会館バレエ・セミナー

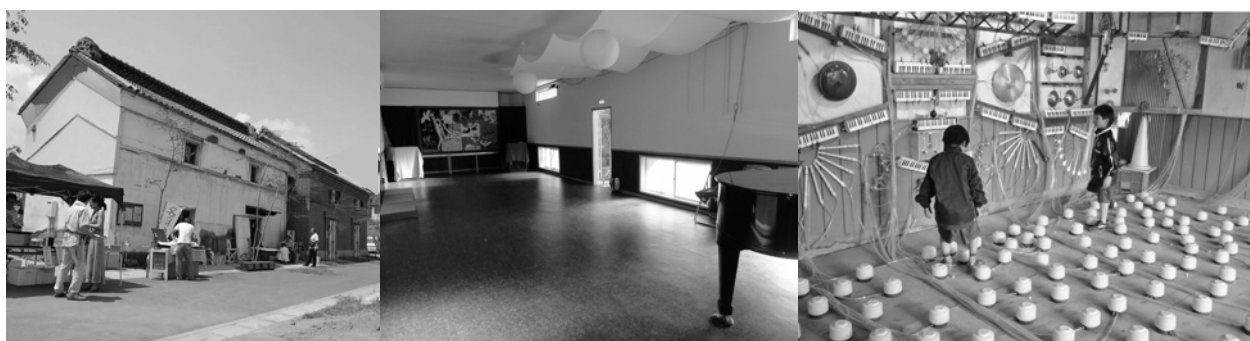
3 予算額 1,304,977千円

未利用施設を活用した文化芸術拠点の整備

担当 文化振興課 文化振興担当
内線 2887

1 目的

NPO法人等が、利用されていない歴史的建造物や空き店舗などを地域の文化芸術拠点として整備する取組、またこうした拠点で行う魅力的な文化イベントを支援することにより、地域の活性化や観光客の誘致を図る。



本庄市「Cafe NINOKURA」

皆野町「森の音楽堂かなりや」

北本市「ナヤノギャラリー」

2 事業内容

事業名	文化芸術拠点創造事業 16,275千円	
種別	(1)文化芸術拠点整備促進事業 (改修等への補助)	(2)文化芸術拠点活性化事業 (イベントへの補助)
補助対象	①特定非営利活動法人 ②商工会議所、商工会等 ③市町村	①特定非営利活動法人 ②市民活動団体 ③ボランティア団体等
対象経費	施設の整備に係る経費のうち ①改修工事、内装工事、設備工事等 ②設計費等	(1)により整備した施設、又は既存の施設で開催される文化イベントに要する経費
補助総額 (件数)	10,000千円 (4件)	6,000千円 (6件)
補助率	県1/2 実施主体1/2	

事業名	アートツーリズム促進事業(新規) 10,380千円
事業内容	上記事業により整備した文化芸術拠点や既設の拠点を紹介するガイドブックを発行する。モデルコースの設定や11月に集中的にイベントを開催することにより、県民の鑑賞機会の提供と観光客の誘致を図る。

3 予算額 26,655千円

消費者の安心・安全サポート事業

担当 消費生活課 総務・企画調整担当

内線 2935

1 目的

消費者の利益を守るため、複雑・多様化する消費生活相談に対する助言やあっせんを行うとともに、悪質事業者に対する指導・処分を行う。

2 事業内容

消費生活相談体制の充実・強化

県民が相談しやすい体制の充実や、困難事案の解決に向けた対応力強化を図る。

- (1) 県消費生活相談窓口の土曜相談体制の充実
- (2) 「問題解決チーム」による広域的・専門的な事案解決

悪質事業者対策の推進

県民の安全・安心な消費生活の実現のため、機動的な立入調査により、悪質事業者に対する徹底的な指導・処分を行う。

- (1) 警察官OB職員の活用
- (2) 悪質事業者対策専門アドバイザーの活用

3 予算額 103,170千円

消費者行政活性化事業

担当 消費生活課 総務・企画調整担当

内線 2935

1 目的

消費者行政活性化基金を活用し、県及び市町村が連携を図り、消費生活相談窓口を拡充するなど、消費生活相談体制の機能強化を図る。

2 事業内容

埼玉県の消費者行政の目指す方向

県 = 高度で専門的な消費生活相談への対応力の強化
市町村の消費者行政への支援機能の強化
市町村 = 消費生活相談窓口の開設日数増などによる住民に身近な相談機能の強化

主な取組

消費者行政の活性化

38,756千円

- (1) 消費生活相談員レベルアップ研修の実施
- (2) 生活科学センター（彩の国くらしプラザ）企画展の開催
- (3) 市町村における消費部門と福祉部門の連携を支援するフォーラムの開催
- (4) 市町村職員による消費生活講座促進のための研修会開催（新規）



市町村への支援

148,968千円

- (1) 市町村消費者行政活性化への補助〔補助率10/10〕
 - ① 消費生活相談窓口の環境整備
 - ② 消費者被害の未然防止のための啓発に関する取組
 - ③ 相談日・時間の拡充に伴う消費生活相談員の人件費 など

3 予算額 187,724千円